

## 令和2年 第17回 教育委員会定例会議事録

招 集 日 時 令和2年12月24日（木曜日）午前10時開会／午前11時30分閉会

招 集 場 所 中央図書館2階 視聴覚ホール

教 育 長 山田利明

出 席 委 員 篠原隆一、山下裕嗣、疎幹子、佐野明子

会議列席者 梶谷事務局長、公下次長兼学校指導課長、渡部教育庶務課長、宮下生涯学習課長、新家中央図書館長、  
山下山中図書館長、宮本教育総合支援センター所長、田中スポーツ推進課長、澤出文化振興課長、  
中蔵教育庶務課長補佐

令和2年第17回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○山田教育長 早いもので、今年最後の教育委員会定例会となります。今年は振り返ると、2月くらいからあらゆる行事が中止となったなという印象でございます。

そんな中で先日、新聞報道でもご存知だと思いますが、学校の先生方の精神疾患による休職、退職が非常に多くなっているという報告があります。そして子ども達のいじめ認知件数、暴力、不登校もどんどん増えているという報告もあります。特に暴力行為については、小学校低学年が5年前に比べたら、認知件数が5倍になっているというようなことで、5年間で随分低学年の課題が多くなってきたなと思います。文科省の分析ですと、乳幼児期の発達の課題があるんじゃないかということで、ただ現実としてこれから学校はどうやっていけばいいのか、来年以降も低学年への支援、GIGAスクールでパソコンも入りまして、ソーシャルディスタンスでなかなか近くに寄れないということもありますけれども、人間関係を構築していくということが、低学年では非常に大事じゃないかなと思っておりますし、来年からその施策も考えていかないといけないと思っております。

それでは審議事項に入りたいと思います。審議事項は5件ありますが、議案第32号、第33号、第34号につきましては、前回からの継続審議となりますので、3件まとめて一括で審議をしていきたいと思っております。それでは澤出課長、お願いいたします。

- 議案第32号 加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存計画及び加賀市加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存計画の変更（許可基準・修景基準）について
- 議案第33号 加賀市加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存計画の変更（特定物件（樹木）の解除）について
- 議案第34号 加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存計画の変更（特定物件の所在地の訂正）について  
澤出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 今回の説明の通り、議案第33号は取り下げということになりますので、議案第32号、第34号について何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員 4ページの許可の基準の第7条に「適合しないものについては、同項の規定による許可をしてはならない。」とあって、たぶん今、この許可は改修とか伐採とかにあたると思うんですが、一番おおもとの東谷口地区とか橋立地区の保存のときに、確か地区として一括でこの保存の計画ができたんだと思うんです。個別の建物について、基準に合ったかどうかというものはされてなかったと思うんですが、いかがでしょうか。

○山田教育長 澤出課長、お願いします。

○澤出課長 基準でございますけれども、6、7ページに許可基準と修景基準があるんですが、地区の建物をおおまかに分類しますと、例えば昭和、戦前ですとか期限を決めて、それより古い建物とそれ以外の比較的新しい建物に分類してあります。一応エリア全体で古い建物であっても、比較的新しい建物であっても、全体として一律の基準というものを、許可基準で定めており、6ページの修景基準は新たにそのエリアで新築をするというときに、まわりの建物とマッチするような基準というもので修景基準を定めております。山下委員がおっしゃるように個別では、個々の建物でこういうふうにしなさいというような基準は定めてはおりません。

○山下委員 わかりました。であれば、今後おそらく割と新しい建物とか、その地域にある鉄筋・鉄骨の建物に対しても、こういう許可基準とか修景基準に準じないと改修とかができなくなってくると思いますので、その辺ちょっとなにかしら策を考えられるようなことを検討いただければいいのではないかと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは一括して採決をとりたいと思います。議案第32号、加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存計画及び加賀市加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存計画の変更（許可基準・修景基準）について、及び議案第34号、加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存計画の変更（特定物件の所在地の訂正）について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決といたします。

続きまして議案第36号、家庭教育推進会議設置要綱の一部改正について宮下課長お願いいたします。

● 議案第36号 家庭教育推進会議設置要綱の一部改正について

宮下課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員 慎重になった方がいいかなと思うのが、まず第2条の変更において、今まで「把握」とか、「意見具申」とか細かい規定があつて、いわゆる諮問委員会らしい現行の条文であったものを除いたことによって、守備範囲を非常に広げたわけでありますね。「把握」を減らしてみたり、「事業に関する」とか守備範囲を広げたわけです。実際に今みたいに諮問であるということであれば、ある程度絞った方が実はよかったのかなと思います。さらには委員を今まで各校長会とかの団体に委嘱というかたちで、校長が替わったらそのまま委嘱を続けますというかたちであったのを、その大くくりで社会教育関係者、学校関係者となって、それをさらに選任というかたちにしたわけですね。それはいいとして、最後の第6条4項ですが、諮問委員会で

あってもやはり「出席委員の過半数で決し」という部分とか、議決というか方向的な、どうやったらこの会議の内容をまとめることができるかという部分は削除すべきではないと思うんです。もちろん出席委員のメンバーだけで決めれば、その方が進行はしやすいと思うんですが、各委員が自覚を持ってその諮問にあたるために、来られない場合はいわゆる委任状をとるとか、自分がその委員であるということを認識していただきながら委員になっていただくというふうにしないと、出た委員だけでは一部の意見だけに偏るということもあるんじゃないかと思いますので、この第6条の4項については、なにかしら議決の方法を残しておいた方がいいのではないかという、これは意見でございます。

質問としては、委嘱から選任となるわけですがけれども、そうするとこの教育委員会で選任するために、例えば社会教育関係者の方はこういった方ですと、1回1回その都度の個人の資格とか内容を審査しなければならないと思うんですがけれども、委嘱から選任に変わったということについて、どういったかたちで選任になったのかなと思ひまして。

○山田教育長 宮下課長、お願いします。

○宮下課長 修正に関しましては、総務担当の方と相談いたしまして、この会自体が附属機関ではないので、附属機関でないのであれば委嘱ではなく選任の方が適切であるというふうなご指摘をいただきまして、そのように修正させていただきたいと考えております。

○山下委員 委嘱と選任を同じように考えておられると思うんですが、委嘱はあなたが適當ですとお願いしますという公的なものであります。選任というのはしっかり双方向の条件等を確認しなければならないので、より慎重に決めることが必要だと思いますので、その辺を施行までに検討をお願いいたします。

○山田教育長 これは教育委員会で承認を得て選任というかたちになるんですね。なのでこの会でお名前があがってくることです。

第6条4項のところで、山下委員の方からこれは残しておいた方が、今後の会の運営にはいいのではないかというご意見ですが、宮下課長いかがですか。

○宮下課長 こちらにつきましては、あくまでも定例会の方で議決をとっていただくということなので、こちらからご意見をいただく会という位置づけになっているところで、削除させていただきたいと思ひます。

○山田教育長 他にご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 現行の要綱と改正後の要綱で大きく違うのは、何をするのが非常に曖昧になってきたなという印象を受けます。この家庭教育推進会議の役割が非常に曖昧になって、ではこの委員さんは家庭教育に関するいろんな審議事項を総括的に扱うのか、今までの例えば家庭教育支援推進計画の策定をやっていましたとか、推進事業に関する意見具申、及び評価をしていましたとかというように具体的に書かれていたところがなくなってしまったので、非常に漠然とした会になったなという印象を受けます。それに伴って先ほどから出てきているいわゆる議決ですね。例えば支援推進計画を策定する、それに対して良いか悪いかということはやはり委員の中で決めなければならないと思うので、決めた上でこの定例会の中でまた再度検討ということになると思うんですが、なぜこのようなことをしなければいけないのかがわからなかったもので、もう少し詳しく聞かせていただくと大変有難いんですが。

○山田教育長 宮下課長、お願いします。

○宮下課長　　そもそもこちらの第2条、第6条、第7条は修正するつもりはなかったんですが、総務の法規担当と相談いたしまして、あくまでも教育委員会定例会で議決するものであるので、こちらの方はあくまでも諮問するという会であることから、このように訂正した方がよろしいというようなご意見をいただいて、このように直させていただいたということでございます。

○山下委員　　内容の変更として会の運営は非常にしやすくなったのは見受けられます。そちらがメインになっているんですね。会の本質がなんだったのかをもう一度考えていただいて、今日は私は手を挙げませんので、もう少し会の本質を引っ張っていただいて、次回もう少し審議されたものがほしいと思います。そうしないと、ただ来た者だけで決めていい会になったのでは諮問委員会でもなんでもなくて、意見を言いたい者が集まる会になってしまいますので。教育委員会として定例会で細かい議件をひとつひとつ揉むことはないと思うんです。揉まれてきたものを我々が良いか悪いかを判断し決議する場所だと思いますので、定例会で決めるからというのではなくて、もう一度検討をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○篠原委員　　私も山下委員に賛成です。改正案を見ますと、この家庭教育推進会議の意味づけがほとんどわからなくなっているんで、やはり諮問機関ですからある程度きちんとした原案をあげていただかないと、教育委員会で全てを検討すると言われてもいちいち細かいところを検討しづらいものもありますし、短時間の中で検討もできないので、きちんとした推進会議という会議があるならば、そこで何度か検討した上で、例えば支援推進計画等の策定などを行なってもらえるものだと思います。そういう専門家集団だと理解しておりますので、きちんとした原案をあげていていただきたいということから、中身としても目的というか、役割をもう少し詳しく書かれた方がいいんじゃないかなというふうに思いますし、再度検討していただいた方がよろしいんじゃないかと思います。

○山田教育長　　宮下課長、今のご意見についていかがですか。

○宮下課長　　それでは今回は継続審議とさせていただきたいと思います。

○山田教育長　　では今回は決は採りません。

○山下委員　　第3条の校長会の充て職ではなくて、枠として選任をするということに対しては非常にいいことだと思います。充て職ですとどうしても順番で替わりましたというかたちになりますので、その辺、内容がしっかりと理解できる方を選任するというので、この第3条の変更については良い変更だと思いますので、意見として添えておきます。

○山田教育長　　継続審議となりましたが、この際事務局の方にこのような視点で検討していただきたいというようなご意見がございましたら、おっしゃってください。

○疎委員　　変えようという意見があるということは、これからこういう方向に向かっていきたいという気持ちがあると思うんですが、それをお聞かせいただけたらと思います。

○山田教育長　　宮下課長、お願いします。

○宮下課長　　大きな目標というか、ただ固定化された組織で決められてしまうと、そのときそのときの状況に応じて適した方というのは変わってくると考えておりまして、もう少し柔軟に選べるようにということで、変えたいと考えていたところです。

○山田教育長　　ご意見をいただいたことを踏まえながら、事務局の方で検討させていただいて、今年度中には必ず承認をいただかないといけないと思いますので、再度提案させていただくということでよろしく願いいたします。

それでは次にいきたいと思います。議案第 37 号、加賀市陸上競技場第 3 種継続申請について田中課長お願いいたします。

- 議案第 37 号 加賀市陸上競技場第 3 種継続申請について  
田中課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

それでは議案第 37 号、加賀市陸上競技場第 3 種継続申請について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決といたします。

以上で審議事項は終わります。続きまして報告事項に入ります。報告第 66 号、令和 2 年 12 月加賀市議会定例会の答弁について渡部課長お願いいたします。

- 報告第 66 号 令和 2 年 12 月加賀市議会定例会の答弁について  
渡部課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 まず 34 ページの ICT 教育環境整備に合わせたガイドライン作成についてとあります。早急に本市ガイドラインを作成しますということなんですけれども、いつごろ完成される見通しなのかというのが 1 点目です。

2 点目は 36 ページのオンラインマラソンのことについてです。上田議員からも追加質問されていましたが、やはり特色のあるオンラインマラソンにしないと、あまり参加者も増えないし、意味がないんじゃないかなと思います。上田議員からも何点か具体的な提案みたいなものが出てきていたけれども、そういうものもぜひ取り上げていただきたいですし、今いわゆるオンラインマラソンというものが大流行りなので、それと差別化を図るような取組みをぜひ行なっていただきたいと考えております。

3 点目は 38、39 ページになります。現在はドリル型の ICT 教材だとか、あるいは動画配信サービスというものを利用して活用していますというような答弁でしたが、現在、例えば活用、契約しているような、どんな動画配信サービスやドリル型があるのかというのが 1 点です。

それから 2 学期にわたって学校訪問をさせていただきましたけれども、各学校において全児童生徒に配布されたタブレットやパソコンなどを積極的に活用しているという様子があまり見られなかったです。たまたまその時間じゃなかったんだろうと感じておりますけれども、ぜひ次年度に向けては、せっかく大きなお金をかけて整備したものですので、やはりそういうふうな授業実践を各学校の中で見せていただきたいというのを、学校訪問の中で要望しておきたいと思っております。以上 3 点です。よろしくをお願いいたします。

○山田教育長 まずガイドライン、ドリル型、配信サービスのことなどについて公下次長、お願いします。

○公下次長 まずガイドラインについてです。文科省の平成 26 年のガイドラインを基本にして

各学校に伝えていきます。そしてそれをもとに、平成 26 年からだいぶ時間が経っておりますので、それ以降の状況の変化も踏まえながら、それを織り込んだものとして、今年度内には学校の方には提示をしていきたいと思っております。

そして 2 点目ですが、ドリル型 I C T については、中学校の方はイーライブラリというものを入れています。そして小学校の方はベネッセのミライシードを入れています。動画配信については、NHK for school とかいろいろ紹介はしてあるんですけども、各学校の先生方が自分たちで探したものもありますし、こちらこのあともいろいろな教材バンクなんかに登録しながら、先生方に紹介をしていく予定であります。そういう点で、先生方もいろんなかたちで動画を活用している状況がありますので、そういう部分での授業の取り組みはやっていращやいます。

それから積極的にということ、もっともっと積極的に活用していくように各学校の方にはお伝えはしてありますし、I C T 支援員というかたちで入ってもらいながら、いくつかの授業を指導主事が見てきた中には、プログラミングの授業とかに関しては、すごく活発に授業をされているときもありますので、だいぶ今進んできている様子があります。また今後もそれは続けていくように伝えていきます。

○篠原委員 NHK for school とか、そういうものだと理解すればよろしいですか。そういうものを市教委として各学校にこういうものがありますよということを提示しているのか、各学校の方からこういうものがありますよとやっているのか、たぶん両方でやっていると思うんですが、できれば市教委の方できちんとかいうものを使ってくださいと指定していかないと、公の教育なので、なんでもかんでも適当に各学校でやってといっても混乱の元になりますから。できれば教育委員会の方でこのようなものを使ってくださいと示していった方がいいのではないかなと思うんですが、いかがでしょうか。

○公下次長 NHK for school とか、他の動画いくつかは、県の方からも紹介いただいている分と併せて、市の方から各学校へは紹介はしてあります。ホームページの方にも、これは活用できますよということで、学校の方では見ていただいているようにはしています。ただ他のもので活用できるものも、市の方でもこれから紹介していけるようにしていきたいと思えます。

○山田教育長 ではオンラインマラソンについて田中課長お願いします。

○田中課長 オンラインマラソンに関して、上田議員の方からもいくつかご提案等をいただいているところなんです、当初予定としておりませんでした部分として、上田議員からの提案に、累積距離チャレンジというものがあります。42.195 キロを完走したあともまだ走行距離を累積していくことができますので、長い距離を走られた方で、その上位の方を大会ホームページ上で表彰させていただくことで、参加される方のモチベーションアップを図りたいと考えております。また上田議員からの追加質問が出ておりますが、安全に走ることができるコース、加賀市内の中で選定させていただきまして、大会ホームページの中でおすすめのランニングコースというかたちで紹介させていただきたいというふうに考えております。その他の本市独自の取り組み等に関しては、のちほど報告議案第 72 号の方で、オンラインマラソンについてまた改めてご説明させていただきたいと思えます。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 ガイドラインの 5 年計画的なものを出していただきたい中で、中川議員の質問の

中にありましたパソコンについてです。学級担任用に 242 台を配備すると。実は児童生徒さん用のパソコンと担任用のパソコンはまったく見解が違うものであります。児童生徒さんは持って自分で好きなように使ってくださいでもいいんですけれども、担任用というのは与えただけでは使えないんです。これにしっかりとしたコンテンツソフトがあって、やっと担任が使えるので、早急にこちらを先行してガイドラインの中に組み入れて、こういうかたちで担任用のパソコンを活用しますよとやらないと、「あげました、使ってください」といっても使えないんです。それをガイドラインの中に先行に入れていただきたいです。それからモニターについてのお話ですけれども、前回も申し上げましたが、箱物行政にならないでいただきたいと思います。与えたからいいのではなく、それをどう使うかなので、支援センターの方でも研究いただくと思うんですけれども、早急に検討していただきたいと思います。それからガイドラインについては、文科省の平成 26 年からはすでに 5、6 年経ってきています。文科省から出てくるのを待っていてはだめだと思います。加賀市はおそらく本来は国に先行した I C T の研究を始めた市であったと思いますので、ましてや今度、イノベーション推進課がスマートシティ課になって、総合的なものができるようになってきました。そちらとも協力いただきながら、ぜひこのガイドラインを早急に最優先に策定いただいて、利活用できるようなかたちにさせていただけたらと思います。それによって中川議員の二つ目の質問の、不登校の生徒たちの対応についても大きく進展できると思いますので、これは意見でございますけれども、今想定するだいたい何年計画とかがあればお示しいただければと思います。

2 点目ですが、オンラインマラソンの中で、参加賞の一部に山中漆器を使うということでございました。その他はマスクであるということですが、できるならば今はこんな時期でございます。参加賞については山中漆器のみならず、すべてのものを地産品でお願いしたいなと思います。地元の経済を潤すことによっていろんなものが活性化すると思いますので、できれば参加賞を特色あるものとするならば、山中漆器のみならず地産品で出していただくというかたちがいいんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。

○山田教育長 参加賞については、議案第 72 号と重なりますので、またあとでお答えさせていただきます。その他のガイドラインについて公下次長、お願いします。

○公下次長 ガイドラインにつきましては、おっしゃる通り、平成 26 年に文科省に出たもので、健康上に留意してという点でも、例えば姿勢のこととか、どれくらい見たら目を休めるとか、それから環境状況によっては、角度によってまぶしいのでこういう設定が必要だとか、そういうことが書かれているので、それを活かしていくことと、平成 26 年以降に付け加えていかないといけない部分も平成 26 年のものを元にしながら、市の方では今年度中に作っていくことで早めに提示をしていきたいと思っております。

それから 242 台の学級担任用のパソコンは、一応子ども達と同じような仕様の Google の chrome で準備をしていくことになっています。いろいろなコンテンツについても、先生方が使いやすいようなかたちで学校とも検討はしていきたいと思います。

○山下委員 学級担任用のパソコンについては、加賀市独自にコンテンツアプリの作成をしていただいて、不登校の生徒にも関わりますが、児童生徒は個別のパソコンを持っているので、普段では言えないこととかもパソコンを通じて先生に相談できるような、ごく一部だと思いますが、そういったことをなかなか言えない児童生徒がいて不登校につながっていくと思います

ので、それを未然に防ぐためにも、システムの構築においては、そういったことも加味されたものを独自に作られるように、いわゆるスマートシティ課等々のご協力をいただきながら早急に作り上げていただければという意見でございます。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 67 号、小中学校水道蛇口のレバー化・自動水栓化の状況について渡部課長お願いいたします。

● 報告第 67 号 小中学校水道蛇口のレバー化・自動水栓化の状況について  
渡部課長 資料に基づき説明

○山田教育長 今年度にすべて終了ということで、もうすでに終わっている学校もかなりありますけれども、今の説明の通り、部品がなくて少し時間がかかるというようなことでございます。

これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員 依然のものに対して、レバー式のものは耐用年数が短くなるんじゃないかなと思うんですが、その辺はどういうふうにお考えでしょうか。

○山田教育長 渡部課長、お願いします。

○渡部課長 レバー式あるいは自動水栓式に交換となりますが、確かに耐用年数のことはあるんですが、その辺は学校の方で、先生もいらっしゃいますので、確認をしていただいて直すべき箇所を見つきましたら対応していきたいと考えております。

○山下委員 レバー式の方が非常に壊れるのが早いとお聞きしました。多くがレバー式なものですから、例えば部品が足りない、入ってこない、それで水道がしばらく使えないという状況にならないようにしていただきたいなと思いました。

○渡部課長 水道の蛇口は児童生徒の学校生活に直結する重要なものでありますので、故障等につきましては、随時対応していくようなかたちで進めたいと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 68 号、令和 2 年度第二四半期における小中学校教員の時間外勤務時間集計結果について公下次長お願いいたします。

● 報告第 68 号 令和 2 年度第二四半期における小中学校教員の時間外勤務時間集計結果について  
公下次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 教育委員会も大変ご苦労なさって、県もいろんなところで教員の勤務時間軽減ということでご努力なさっていると思いますけれども、残念ながら第Ⅱ期を示していただきましたが、県を上回っている状況ですね。その原因は何なのかお伺いしたいです。毎回毎回上回っているのではだめですし、抜本的に減らさないといけないので、効果的なものはなかなかないと思いますが、何らかのかたちの方策が必要だと思うんです。実態はよくわかってきている



ので、それぞれの方策がもしありましたらお聞かせいただければ有難いです。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 I 期は県の平均よりも高くなかったんですが、II 期になってこのように上がった部分は、9 月は部活動が入ってきたことによって多くなってきたところがあります。7 月はやはり教材研究で、今回夏休みが短かった分での教材の準備がここで集中的にあったことが考えられると思います。ただ市としても留守番電話の方を入れて放課後の時間外は対応できるようにとか、施策を打ちながらやっておりますけれども、今言われたようにもう少し学校の状況も把握しながら、平準化の進み具合と、それから中間の状況も各学校の方で確認しておりますので、その様子も学校と情報交換しながら何が原因かを考えていきたいと思っております。特に時間が超過している方に関しては、もう少し手立てがないか学校とも相談しながらいきたいと思っております。これをやればというのがなかなか見つからない状態ですが、昨年、一昨年のデータよりはだんだん減ってきている様子があるので、効果的な部分はそのまま継続していきたいと思っております。

○篠原委員 例えば校務管理ソフトですとか、そういうものを県で統一してという話が前々からきておりますが、やはりそういうものを県として早めに統一して入れていただくというようなことをやっていただきたいです。教材研究は非常に大切なことなので、それ以外の会議の時間を減らすとか、あるいは連絡報告等をできるだけ的確にスムーズに行えるようなシステムの構築を本当に早くしていただきながら、先生方の負担の軽減に取り組んでいただきたいと切にお願いをいたします。

○山田教育長 42 ページの表を見ますと、8 月が石川県が少なく、加賀市が特に多いですね。8 月、これが原因だと思っております。これは石川県のかかなりの部分を占める金沢市が夏休みを丸々としていて、お休みになっていました。しかし加賀市は 2 週間しか夏休みがなかったというところで、8 月で大きな差が開いたと思っております。例えば 9 月を比べれば県の平均より少ないですね。これは授業があったかどうかというようなところで違いが出てきたんじゃないかと私は思っているんですが。ですから県と比べて 7 月から 9 月に関しては夏休みが影響しているということだと思います。

他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 69 号、本川弘一科学奨励賞の表彰式について公下次長お願いいたします。

- 報告第 69 号 本川弘一科学奨励賞の表彰式について  
公下次長 資料に基づき説明

○山田教育長 今年度は作品が少ない中での選考でしたけれども、今年度も表彰式が行われたという報告でございます。これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 70 号、全ての児童・生徒への携帯型消毒液の配布について公下次長お願いいたします。

- 報告第 70 号 全ての児童・生徒への携帯型消毒液の配布について  
公下次長 資料に基づき説明

○山田教育長     これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員     配ることは大変素晴らしいことですし、こういうことでクラスターが発生しないことを切に願っております。注意事項なんかに書いてあると思うんですが、低学年のお子さんなんかは、これで遊ぶことが非常に心配されます。たくさん出してすぐになくなったとか、そういうことがあると思います。主にご家庭で使われるものだと考えておりますが、そうなってくると注意事項を改めて先生方の方から徹底していただきたいと思っております。学校には詰め替えがたくさんあるとお聞きしておりますが、それも無駄使いをしてはいけないので、決してふざけたりがないようにくれぐれも念押しをしていただきながら、ご家庭での使い方の適正化をやっていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○山田教育長     安全のために配って事故が起きたら本末転倒ですので、それは十分に注意して、発達段階に応じて配っていると思います。

○篠原委員     例えば目に向かってシュッとすると非常に危険なので、くれぐれも注意をしていただきたいと思います。

○山田教育長     発達段階によっては子どもに持たすのではなくて、保護者に配ることもしておりますので、十分に配慮しているかと思います。

他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 71 号、コロナ禍に伴う子育て世帯への学校給食費の助成拡大について公下次長お願いいたします。

- 報告第 71 号 コロナ禍に伴う子育て世帯への学校給食費の助成拡大について  
公下次長           資料に基づき説明

○山田教育長     これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 72 号、加賀温泉郷オンラインマラソン 2021 について田中課長お願いいたします。

- 報告第 72 号 加賀温泉郷オンラインマラソン 2021 について  
田中課長           資料に基づき説明

○山田教育長     これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員     1,000 円の参加賞ということで、参加賞としては十分なものであると思います。調べ方によっては 1,000 円のを例えば 300 個、30 万円でどなたか、公募をすればたくさん手を挙げる業者がいるんじゃないかと思っておりますので、またご検討いただきたいと思っております。

○山田教育長     他、ございませんか。よろしいですか

続きまして報告第 73 号、山中中学校教員不祥事の処分について公下次長お願いいたします。

- 報告第 73 号 山中中学校教員不祥事の処分について  
公下次長           説明

○山田教育長     これについて何かご意見ございませんか。よろしいですか  
ではこれで報告事項は終わりです。

続きましてその他に入ります。加賀市立小中学校の卒業式・入学式の日程について公下次長  
お願いいたします。

- 加賀市立小中学校の卒業式・入学式の日程について  
公下次長           資料に基づき説明

○山田教育長     これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

今のところ通常で行なう予定ということですが、状況によっては変わるということがございます。

ではその他のその他で次回教育委員会定例会日程について渡部課長お願いいたします。

- 次回教育委員会定例会日程について  
渡部課長           説明

○山田教育長     1月26日火曜日、13時30分からということで予定に入れておいてください。

この際ですから委員の皆様から何かございますか。よろしいですか。

それでは以上で第17回教育委員会定例会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。